

文化観光局

あうたびに、あたらしい Find Your YOKOHAMA

～「チーム文化観光局」による「選ばれる都市 横浜」の実現～

○持続可能な文化観光施策の推進

令和3（2021）年度は、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化を踏まえ、「感染症対策と社会経済活動の両立」、「新しい生活様式」に対応した事業の展開、「横浜ならではの体験価値の創出」の3つの考え方にに基づき、コロナ禍における事業を推進します。

文化芸術創造都市施策においては、コロナ禍で様々な制約を受けている文化芸術活動を支援するため、リアルな場での公演を実施するための感染症対策経費等に対する助成や、アーティスト・クリエイター等を対象とした税理士・弁護士等の専門資格者による特別相談対応を、2年度に引き続き実施します。また、徹底した感染症対策のもと、横浜の街そのものを舞台にした芸術フェスティバル「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021」を開催し、特に東京2020オリンピック・パラリンピックの期間中には、市民の皆様に参加していただき街を盛り上げるプログラムも実施します。さらに、都市の新たな夜景を創り出す「創造的イルミネーション」の実施など、文化芸術の力で横浜の魅力を高めます。

観光・MICE施策においては、まずは国内からの来訪の回復に注力し、観光復興支援施策の実施や、魅力向上につながる観光資源の充実・開発、海外向けには現地拠点を活用したセールス・プロモーション等に取り組みます。併せて、ハイブリッド形式など新たな開催形態に対応したMICEを支援するとともに、市内事業者への発注を促進し、市内経済の活性化に繋がります。また、横浜市が目指す観光・MICEの姿や方向性を示す戦略を策定していきます。

これらの施策により、コロナ禍における文化芸術・観光MICE施策を、局一丸となって推進し、賑わい創出や経済活性化につなげていきます。

○「選ばれる都市 横浜」の実現に向けて

局事業の基盤となる5つの柱に基づき、中期4か年計画に掲げる「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」「観光・MICEの推進」に向けて、刻一刻と変化する社会情勢を見極め、優先順位を精査しながら事業を推進します。また、「社会包摂」と「次世代育成」を、分野を超えた局の共通理念とし、SDGsを意識し施策を展開することで市民の皆様にとって誇れるまち、国内外から「選ばれる都市 横浜」の実現を目指します。

基盤となる5つの柱

戦略的・効果的なシ
ティプロモーション
の展開・強化

市民の文化芸術活動
の支援と環境整備

横浜のプレゼンスを
向上させる文化芸術
創造都市の実現

国内外からの誘客促
進と受入環境整備の
推進

グローバルMICE
都市としての競争力
強化

共通理念 「社会包摂」と「次世代育成」の推進

～クリエイティブ・インクルージョン／クリエイティブ・チルドレン～

コロナ禍における事業展開

感染症対策と社会経済活動の両立

“新しい生活様式”に対応した事業の展開

横浜ならではの体験価値の創出

～市民の安全・安心を第一とした、文化芸術活動、市内観光・MICE振興～

文化芸術・観光MICEによる持続可能な魅力づくりと賑わい創出

「選ばれる都市 横浜」の実現

○目標達成に向けた組織運営

共感・協働を大切に

現場を知り、現場の声をしっかりと受け止めるとともに、市民、企業、NPOといった多様なステークホルダーとの対話を大切にして信頼を築きます。関係機関・関係区局との連携・協働を進め、状況の変化に柔軟に対応しながら、文化芸術・観光MICE 施策を前進させます。

果たすべき役割を 意識して行動する

誠実・公正に行動し、業務を適正に行い、市民、社会の要請にこたえていくことはもとより、前例にとらわれず、広い視野と柔軟な発想力をもって業務に取り組みます。局の基本目標の達成に向け、職員一人ひとりが自分の役割を自覚し、ヨコハマを愛し、横浜の魅力を内外に発信します。

人材育成と 職場づくり

職員一人ひとりが意欲・能力を發揮し、チーム力を高めるため、業務や職位の壁を越えて活発な議論ができる、風通しの良い職場づくりに取り組みます。すべての職員が超過勤務縮減・休暇取得促進に努め、多様な働き方を推進し、働きやすい職場づくりを進めます。

横浜の魅力づくりとシティプロモーションを推進します (横浜魅力づくり室)

横浜魅力づくり室では、他局や庁外との連携・協働を強化して相乗効果を発揮できるよう、横断的・総合的に事業の調整を行うとともにシティプロモーションを推進します。

■シティプロモーション事業

横浜が国内外から「選ばれる都市」となるため、「あうたびに、あたらしい Find Your YOKOHAMA」をブランドスローガンに掲げ、文化芸術・観光 MICE 分野をはじめとした魅力づくりとプロモーションを展開し、都市としての認知度やブランドイメージの向上を図ります。

コロナ禍において、ターゲットを精査し、行動様式の変化に対応したプロモーションを実施することが必要であり、これまでよりさらにウェブ上での発信力を強化します。

■調査分析事業

賑わい形成、経済の活性化、プロモーションの戦略的・効果的な実施につなげるため、市内の文化芸術創造都市・観光 MICE 施策に関係する施設に関する認知率・来訪率等の調査を実施します。

横浜らしい魅力を世界に 発信する文化芸術創造都市 づくりを推進します (文化芸術創造都市推進部)

■創造境界形成事業

歴史的建造物や公共空間等、都心臨海部の地域資源を有効活用した創造境界拠点の運営・管理を行い、アーティスト・クリエイターの集積や地域との連携を通して、まちの賑わいづくりを進めます。

〈創造境界拠点〉

旧第一銀行横浜支店、BankART1929、急な坂スタジオ (旧老松会館)、象の鼻テラス、初黄・日ノ出町地区、THE BAYS (旧関東財務局)

■アーツコミッション事業

アーティスト・クリエイター、NPO、市民の皆さんなど様々な創造の担い手をサポートする「アーツコミッション・ヨコハマ」(平成 19 年 7 月開設) を運営しています。

アーティスト・クリエイター等のワンストップ相談窓口や、各種助成、創造都市横浜の情報発信などのほか、遊休不動産を創造的に活用することでまちの活性化を進める芸術不動産事業、アーティスト・クリエイターの活動を知ってもらうためのイベント「関内外 OPEN!」、様々なプレーヤー同士が出会い、相乗効果を生み出す触媒機能を担うプラットフォームの運営等を行っています。

また、国内唯一かつアジアで最も影響力のある舞台芸術プラットフォームである国際舞台芸術ミーティング (TPAM) について、令和 3 年度より「横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM)」として 12 月に開催します。

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

・所在地：中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
・TEL：045-221-0212

■ヨコハマ・パラトリエンナーレ事業

障害のある方をはじめとする市民の皆さんと、アーティストなどの多様な分野のプロフェッショナルとの協働によるアートプロジェクト『ヨコハマ・パラトリエンナーレ』を開催し、誰もが居場所と役割を実感できる社会の実現を目指します。

令和 2 年度は本番開催年であり、「our curioCity - 好奇心、解き放つ街へ -」をテーマに掲げ、オンラインとリアル会場である横浜市役所を舞台に、障害の有無や地域を超えて参加できるフェスティバルを開催しました。

■創造的イルミネーション事業

横浜のナイトタイムエコノミー活性化の契機とするため、都心臨海部において、横浜ならではの都市型イルミネーションを実施し、街全体で光と音楽の演出を行います。より一体感ある演出とするため、光の演出ポイントを増やすとともに、街を回遊して楽しむプログラムや、地域のイルミネーションとの連携を進めます。

令和 3 年度 開催概要

会期：令和 3 年 11 月 18 日 (木) から 12 月 26 日 (日) まで (予定)
会場：新港中央広場と周辺エリア
主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会

■映像文化都市づくりの推進

本市が誘致した東京藝術大学大学院映像研究科等と連携して、横浜から魅力ある映像文化を発信します。

〈東京藝術大学大学院映像研究科〉

・映画専攻 平成 17 (2005) 年 4 月開設
・メディア映像専攻 平成 18 (2006) 年 4 月開設
・アニメーション専攻 平成 20 (2008) 年 4 月開設

〈東京藝術大学による地域貢献事業〉

・各専攻による公開イベント
令和 3 (2021) 年 7 月～令和 4 (2022) 年 3 月
・トワイライトコンサート、馬車道コンサート
令和 3 (2021) 年 11 月～令和 4 (2022) 年 3 月
・各専攻による市民公開制作展
令和 4 (2022) 年 1 月～3 月

- ・スクールシアター
令和3(2021)年11月～12月
- ・クリスマス・アニメーション・ワークショップ
令和3(2021)年12月

■創造的ビジネス事業

横浜に集積したアーティスト・クリエイター等が実施する、創造性を生かした商品開発や社会的課題の解決、また、文化芸術やデザインなどのビジネス化に資する取組を支援するための助成等により、新たなビジネス機会の創出を図るとともに、創造的産業の振興に繋がります。

■創造都市市民連携

「まち全体をステージに」をコンセプトに、まちの賑わいや来街者の回遊性を創出する「横濱 JAZZ PROMENADE」や、市民ミュージシャンを主とした出演者による国・ジャンル・性別・障害等の垣根を超えたコンサート「ホッチポッチミュージックフェスティバル」など、イベントの開催支援を行います。

- ・横濱 JAZZ PROMENADE 2021
令和3(2021)年10月9日・10日
(新型コロナウイルス感染症の影響により、集客イベントは中止)
- ・ホッチポッチミュージックフェスティバル
令和3(2021)年10月24日(横浜公園)

■創造都市ネットワーク日本

創造都市の取組を推進する地方自治体等で構成する「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」と連携して、各種会議等を実施するなど、文化芸術創造都市・横浜の発展と発信に取り組みます。

また、国際展開に携わる自治体等の交流ネットワークである「現代芸術の国際展部会」を事務局として運営します。

■クラシック・ヨコハマ推進事業

国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、コンクールに出場した国内屈指の若手演奏家に演奏機会を提供するとともに、市民の皆さんに身近な場所で音楽を楽しんでいただける音楽イベントを実施します。

実施期間：令和3(2021)年11月6日～令和4(2022)年2月13日

■地域文化サポート事業(ヨコハマアートサイト)

地域課題の解決にアプローチするために、文化芸術の持つ創造性をコミュニティやまちの活性化と結びつける活動や、横浜の個性ある文化芸術を市内外へ発信する活動を広く公募し、支援します。

令和3年度 29事業を採択

■芸術文化教育プログラム推進事業

次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力等を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを、NPO、文化施設等とのネットワークにより実施します。

令和3年度 市内小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校 140校程度で実施

■ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン推進事業

次世代を担う演奏家の育成を目的に、世界各国から選抜された若手演奏家に対して、世界の第一線で活躍する指揮者や演奏者が講師となって、横浜みなとみらいホールで集中セミナーを実施します。成果を発表する場として、室内楽やオーケストラ等のコンサートを開催します。

・ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン
ヨコハマ2021セミナー実施期間
令和3(2021)年6月28日～7月4日

■フランス映画祭支援事業

街の賑わいづくり及び横浜市とフランスの友好関係を強固なものとするを目的に横浜で開催される映画祭を支援します。

開催期間：令和3(2021)年11月11日～14日(4日間)

■横浜市文化基金の積立

文化基金は、美術品等の収集、文化施設の建設を目的に昭和56年4月に設置されました。基金は、市費による積立と、市民の皆さん、企業等からの寄附で成り立っています。

文化基金積立状況(令和2年度末)

累計 9,500,558千円

文化基金で購入した美術作品 5,375点

※市民の皆さん等から寄贈された美術作品 7,326点

文化基金で購入した美術作品と市民の皆さん等から寄贈された美術作品は、横浜美術館でコレクション展示として一般に公開します。

■公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

事務局 中区山下町2 産業貿易センタービル1階
TEL: 045-221-0212 FAX: 045-221-0216

<https://p.yafjp.org/>

芸術文化事業や文化情報の発信など、次のような事業を行っています。

- (1) 芸術文化の創造及び発信
- (2) 芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供
- (3) 芸術文化振興のための助成
- (4) 芸術文化活動拠点の開発及び運営
- (5) 芸術文化資源の収集、保存及び活用
- (6) 芸術文化に関する情報の収集及び提供
- (7) 芸術文化振興に関する調査研究及び政策提言
- (8) 芸術文化振興のための国内外との交流
- (9) その他芸術文化振興を推進するための事業

■文化施設運営

各指定管理者等による文化施設運営を通じて、各種の文化事業を実施します。なお、区民文化センターは区が所管しています。

横浜美術館

所在地 西区みなとみらい3-4-1
TEL：045-221-0300 Fax：045-221-0317
<https://yokohama.art.museum/>

美術を「^み観る」「^{つく}創る」「^ふ学ぶ」の3つの機能をあわせ持つ総合美術館

- 1 事業 企画展・コレクション展の開催、美術情報センター（美術情報ギャラリー及び美術図書室）、子どものアトリエ・市民のアトリエの運営等
- 2 施設内容 グランドギャラリー、展示室、アートギャラリー1・2、子どものアトリエ、市民のアトリエ、レクチャーホール（240席）等
- 3 開館年月 平成元年11月
- 4 指定管理者 （公財）横浜市芸術文化振興財団
- 5 備考 令和3年3月から令和5年度まで大規模改修のため休館

横浜みなとみらいホール

所在地 西区みなとみらい2-3-6
TEL：045-682-2020 Fax：045-682-2023
<https://mmh.yafjp.org/mmh/index.php>

理想的な音響、美しい音色のパイプオルガンなどを備えた国内有数のコンサートホール

- 1 事業 音楽公演等
- 2 施設内容 大ホール(2,020席・他車椅子用スペース14席)、小ホール(440席)、リハーサル室、練習室、レセプションルーム
- 3 開館年月 平成10年2月(小ホール)、5月(大ホール)
- 4 指定管理者 （公財）横浜市芸術文化振興財団
- 5 備考 令和3年1月から令和4年10月まで大規模改修のため休館

横浜能楽堂

所在地 西区紅葉ヶ丘27-2（掃部山公園内）
TEL：045-263-3055 Fax：045-263-3031
<https://yokohama-nohgakudou.org/>

県内初の本格的な能楽堂（染井能舞台を復原した本舞台は横浜市指定有形文化財）

- 1 事業 能、狂言その他古典芸能の公演等
- 2 施設内容 本舞台・見所(486席・車椅子スペース5席含む)、第二舞台、研修室、展示コーナー等
- 3 開館年月 平成8年6月
- 4 指定管理者 （公財）横浜市芸術文化振興財団

横浜市芸能センター（横浜にぎわい座）

所在地 中区野毛町3-110-1
TEL：045-231-2525 Fax：045-231-4545
<https://nigiwaiza.yafjp.org/>

落語、漫才、大道芸など大衆芸能の専門館

- 1 事業 大衆芸能の公演
- 2 施設内容 芸能ホール(391席・車椅子対応可)、小ホール(最大141席・可動席)、練習室、制作室、情報コーナー等
- 3 開館年月 平成14年4月
- 4 指定管理者 （公財）横浜市芸術文化振興財団

横浜赤レンガ倉庫1号館

所在地 中区新港1-1-1
TEL：045-211-1515 Fax：045-211-1519
<https://akarenga.yafjp.org/>

歴史的建造物を活用した自由で創造的な空間

- 1 事業 舞台芸術公演、アート作品展示等
- 2 施設内容 ホール（約150～350席・可動席）、多目的スペース（3室）等
- 3 開館年月 平成14年4月
- 4 管理運営 （公財）横浜市芸術文化振興財団

横浜市民ギャラリー

所在地 西区宮崎町26-1
TEL：045-315-2828 Fax：045-315-3033
<https://ycag.yafjp.org/>

市民の皆さんに美術作品の創作・発表の場と鑑賞の機会を提供し、美術の奨励を図るための施設

- 1 事業 貸館、企画展、講座等
- 2 施設内容 展示室／アトリエ等
- 3 開館年月 平成26年10月に現在地に移転
- 4 指定管理者 （公財）横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体

横浜市民ギャラリーあざみ野

所在地 青葉区あざみ野南1-17-3
TEL：045-910-5656 Fax：045-910-5674
<https://artazamino.jp/>

市民の皆さんに美術作品の創作・発表の場と鑑賞の機会を提供し、美術の奨励を図るための施設

- 1 事業 貸館、企画展、講座等
- 2 施設内容 展示室／アトリエ等
- 3 開館年月 平成17年10月
- 4 指定管理者 （公財）横浜市芸術文化振興財団

横浜市民文化会館 関内ホール

所在地 中区住吉町4-42-1
TEL：045-662-1221 Fax：045-662-2050
<https://www.kannaihall.jp/>

芸術文化の振興や市民の皆さんの文化の向上等を目的とした文化施設

- 1 事業 音楽公演、舞台芸術公演、古典芸能公演
- 2 施設内容 大ホール（1,038席・車椅子12席対応可）、小ホール（264席）、リハーサル室等
- 3 開館年月 昭和61年9月
- 4 指定管理者 （株）tvkコミュニケーションズ・（株）テレビ神奈川・（株）横浜メディアアド・（株）清光社・（公財）横浜市芸術文化振興財団 共同事業体

横浜市吉野町市民プラザ

所在地 南区吉野町5-26
TEL：045-243-9261 Fax：045-243-9263
<http://www.yoshinoplaza.jp/>

市民の皆さんの文化活動と交流を図るための文化施設

- 1 事業 音楽公演、舞台芸術公演、古典芸能公演、美術展等
- 2 施設内容 ホール（200席・可動席・車椅子席4席含む）、ギャラリー、スタジオ等
- 3 開館年月 平成元年7月
- 4 指定管理者 （株）tvkコミュニケーションズ・（公財）横浜市芸術文化振興財団・（株）清光社・（株）横浜メディアアド共同事業体

横浜市岩間市民プラザ

所在地 保土ヶ谷区岩間町 1-7-15
TEL : 045-337-0011 Fax : 045-337-2500
<http://www.iwamaplaza.jp/>

市民の皆さんの文化活動と交流を図るための文化施設

- 1 事業 音楽公演、舞台芸術公演、古典芸能公演、映像芸術公演等
- 2 施設内容 ホール（181席・可動席・親子席4席含む）、リハーサル室、スタジオ、ギャラリー等
- 3 開館年月 平成3年7月
- 4 指定管理者 (株)tvkコミュニケーションズ・(公財)横浜市芸術文化振興財団・(株)清光社・(株)横浜メディアアド共同事業体

横浜市大倉山記念館

所在地 港北区大倉山2-10-1（大倉山公園内）
TEL : 045-544-1881 Fax : 045-544-1084
<https://o-kurayama.com/>

深い緑に包まれた格調ある雰囲気をもった文化施設
(旧大倉精神文化研究所本館、横浜市指定有形文化財)

- 1 事業 音楽公演、講座、貸館等
- 2 施設内容 ホール（80席・可動席）、ギャラリー、集会室
- 3 開館年月 昭和59年10月
- 4 指定管理者 日比谷花壇・西田装美共同事業体

横浜市長浜ホール

所在地 金沢区長浜114-4（長浜野口記念公園内）
TEL : 045-782-7371 Fax : 045-782-7389
<https://www.nagahama-hall.com/>

横浜検疫所長浜措置場のシンボル、旧事務棟を外観復元し、音楽ホールや野口英世博士ゆかりの旧細菌検査室を備えた文化施設

- 1 事業 音楽公演、貸館等
- 2 施設内容 ホール（104席・可動席）、多目的ルーム、音楽練習室、会議室、旧細菌検査室（別館）
- 3 開館年月 平成9年5月
- 4 指定管理者 横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立共同事業体

久良岐能舞台

所在地 磯子区岡村8-21-7（久良岐公園内）
TEL : 045-761-3854 Fax : 045-754-4050
<https://www.kuraki-noh.jp/>

閑静な日本庭園内に佇む、市民の皆さんに開かれた能舞台

- 1 事業 古典芸能公演、ワークショップ、貸室の運営（謡曲等）
- 2 施設内容 能舞台・見所（52畳）、和室、茶室
- 3 開館年月 昭和62年10月
- 4 指定管理者 (株)シグマコミュニケーションズ

横浜市陶芸センター

所在地 中区本牧三之谷59-3（本牧市民公園内）
TEL : 045-623-8904 Fax : 045-625-9087
<https://www.yokohamasitougeicenter.com/>

自然豊かな公園内に設置された陶芸活動の場

- 1 事業 陶芸教室の開催と貸室の運営
- 2 施設内容 貸室、窯場、作陶室等
- 3 開館年月 平成5年8月体験学習施設として開館
- 4 指定管理者 シンリュウ（株）

横浜市大佛次郎記念館

所在地 中区山手町113（港の見える丘公園内）
TEL : 045-622-5002 Fax : 045-622-5071
<http://osaragi.yafjp.org/>

横浜ゆかりの文豪大佛次郎の文筆活動の業績と生涯を紹介する施設

- 1 事業 企画展、講座、貸室（和室、会議室）の運営等
- 2 施設内容 展示室、和室、会議室等
- 3 開館年月 昭和53年5月
- 4 指定管理者 (公財)横浜市芸術文化振興財団

STスポット

所在地 西区北幸1-11-15 横浜STビル地下1階
TEL : 045-325-0411 Fax 045-325-0414
<https://stspot.jp/>

演劇、ダンスのジャンルを中心に、若手アーティストの創造活動の支援を中心とした活動を行っている小劇場

- 1 事業 演劇、ダンスを中心とした芸術文化活動全般
- 2 施設内容 平土間型ホール56㎡（収容人数：40～60席）、操作室、楽屋、ロビー
- 3 開館年月 昭和62年11月
- 4 管理運営 認定特定非営利活動法人STスポット横浜

文化施設整備事業

市民の皆さんが身近に文化芸術に接し、個性豊かな文化芸術活動を活発に行うことができる環境整備のため、身近な拠点となる区民文化センターを、各区の地域特性等に応じて整備を進めます。(次頁 区民文化センター 一覧表参照)

区民文化センター一覧表（令和3（2021）年8月1日現在）

名 称	所 在 地	電 話	主なホールの席数
鶴見区民文化センター （サルビアホール）	鶴見区鶴見中央1-31-2 シークレイン内	045-511-5711	546席
神奈川区民文化センター （かなっくホール）	神奈川区東神奈川1-10-1	045-440-1211	300席
港南区民文化センター （ひまわりの郷）	港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおか中央棟4階	045-848-0800	381席
旭区民文化センター （サンハート）	旭区二俣川1-3 二俣川ライフ5階	045-364-3810	300席
磯子区民文化センター （杉田劇場）	磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田4階	045-771-1212	310席
緑区民文化センター （みどりアートパーク）	緑区長津田2-1-3	045-986-2441	334席
青葉区民文化センター （フィリアホール）	青葉区青葉台2-1-1 青葉台東急スクエア South-1 本館5階	045-985-8555	500席
戸塚区民文化センター （さくらプラザ）	戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎内	045-866-2501	451席
栄区民文化センター （リリス）	栄区小菅ケ谷1-2-1	045-896-2000	300席
泉区民文化センター （シアトルフォンテ）	泉区和泉中央南5-4-13 いずみ中央ライフ3階	045-805-4000	386席

観光・MICE を推進します （観光MICE 振興部）

■観光資源の魅力アップと受入環境整備

観光地として魅力向上、さらには回遊促進に繋げるため、観光資源の磨き上げやコンテンツ造成を行います。また、観光等で訪れる多くの来街者に横浜の魅力を感じてもらえるように、公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー等とともに観光案内所の運営、ウェブサイトやガイドマップ等での案内を行い、訪日外国人旅行者や障害のある方等、多様な来訪者が快適に滞在できる受入環境の充実を図ります。

また、横浜ならではの地域ブランド「ヨコハマ・グッズ『横濱001』」の販売促進支援や、三溪園、横浜マリントワー、横浜人形の家運営支援などを行っています。

■国内外からの誘客

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大で大きな影響を受けた市内観光業の回復に向けて、日帰り旅行商品への一部助成や市内宿泊促進プロモーションの実施を検討するとともに、修学旅行等を対象とした助成を行います。

また、外国人旅行者に選ばれる観光地を目指し、入国規制の状況や変化する市場等に適宜対応しながら、中国及び米国に設置した現地拠点を活用し、情報発信や市場把握等を行い、旅行トレンドの変化をふまえ、本市への誘客を進めています。

■集客イベント開催支援

市内外からの集客・まちの賑わい創出に繋がる、話題性・発信力の高い大規模集客イベントを支援します。

【主なイベント】

ザよこはまパレード、横浜開港祭、ワールドフェスタ・ヨコハマ など

■MICE 誘致・開催支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度は多くのMICEが中止や延期を余儀なくされる中、主催者に対してオンライン経費や感染症対策費等の開催経費の一部を助成する「安全・安心な横浜MICE開催支援助成金」制度の実施や、感染症対策の指針となる「安全・安心な横浜MICE開催ガイドライン」を策定し、市内で開催されるコンベンションや展示会等多くのMICEを支援しました。

令和3年度も、同助成金によって引き続き積極的な主催者支援を行うとともに、市内関連事業者の発注促進につなげていきます。

また、政府系国際会議等の誘致にあたっては、日本APEC、3度のアフリカ開発会議、第50回アジア開発銀行年次総会などの横浜開催実績をアピールしながら、アフターコロナを見据えて継続的に取り組んでいきます。

■MICE 施設運営支援

本市の中核的MICE施設であるパシフィコ横浜及び横浜アリーナの円滑な運営を支援します。

●パシフィコ横浜（株式会社横浜国際平和会議場）

所在地：西区みなとみらい1-1-1

TEL 045-221-2155 FAX 045-221-2136

<http://www.pacifico.co.jp>

国際・国内会議及び文化・学術等各種催物、国内外商品等の見本市、展示会が開催されるMICE複合施設
1事業：国際・国内会議及び文化学術等各種催物、国内外商品等の見本市、展示会の企画、誘致及び開催

2 施設内容：国立大ホール約 5,000 席、会議センター大中小会議室約 50 室、展示ホール 20,000 m²、アネックスホール 1,350 m²、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル約 600 室

3 設立年月：昭和 62 年 6 月

●横浜みなとみらい国際コンベンションセンター (通称：パシフィコ横浜ノース)

所在地：西区みなとみらい 1-1-2

1 事業：貸館、国際・国内会議、及びレセプション等の誘致企画

2 施設内容：多目的ホール約 6,300 m²
最大収容人数約 6,000 名
大中小会議室 42 室

3 運営事業者：パシフィコ横浜（株式会社横浜国際平和会議場）

●みなとみらい公共駐車場

所在地：西区みなとみらい 1-1-1

1 施設内容：最大収容台数 1,154 台（自動車）、44 台（自動二輪）

2 運営事業者：パシフィコ横浜（株式会社横浜国際平和会議場）

●横浜アリーナ（株式会社横浜アリーナ）

所在地：港北区新横浜三丁目 10 番地

TEL 045-474-4000 FAX 045-474-4040

<https://www.yokohama-arena.co.jp>

文化、スポーツ等各種催し物が催されるイベント施設

1 事業：各種催し物のためのイベント施設の賃貸、各種催し物の企画実施

2 施設内容：アリーナ面積 8,000 m²
最大収容人数 17,010 人

3 設立年月：昭和 61 年 11 月

横浜らしい特色ある芸術フェスティバルで街の賑わいを創出します。 (文化プログラム推進部)

■横浜トリエンナーレ

3 年に一度行われる、現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ」を通じ、文化芸術創造都市の推進を図る横浜市の取組を国内外にアピールします。令和 3 年度は第 8 回展となる「ヨコハマトリエンナーレ 2023 (仮称)」の開催準備を進めます。

〈参考：ヨコハマトリエンナーレ 2020 開催実績〉

会期：2020 年 7 月 17 日（金）～10 月 11 日（日）

会場：横浜美術館、プロット 48（みなとみらい 2 1 中央地区 48 街区）

アーティストック・ディレクター：ラクス・メディア・コレクティヴ

主催：横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

来場者数：約 15 万人（新型コロナウイルス感染防止のため入場制限を実施）

■横浜芸術アクション事業

「幅広い市民参加や次世代育成」、「世界水準の文化芸術による都市の魅力の国内外への発信」及び「賑わい創出と経済活性化」を基本理念に、横浜らしい特色ある芸術フェスティバルを継続的に開催します。

令和 2 年度実績

＜音楽・ダンス部門＞

2021 年に延期となった東京オリンピック・パラリンピック 2020 の機運を醸成するとともに、新型コロナウイルス感染症により活動の場を失ったアーティストの支援、市民が文化に触れる機会の創出、横浜市内の賑わい醸成・活性化を主な目的に、オールジャンルの音楽・ダンスのステージ「横浜文化プログラム 2020」を開催しました。

●横浜文化プログラム 2020 開催概要

会期：令和 2 年 9 月 19 日（土）～11 月 23 日（月祝）

会場：横浜市内各所の商業施設や駅前広場などのオープンスペース

出演者数：約 161 組 920 人

＜ダンス部門＞

次世代育成事業の取組を実施するとともに、次期ダンスフェスティバルの開催に向け、準備を進めました。

＜音楽部門＞

横浜みなとみらいホールを中心に次世代育成事業、インクルージョンへの取組などを実施。

また、次期音楽フェスティバルの開催に向け、準備を進めました。

令和 3 年度概要

＜ダンス部門＞

市民参加・次世代育成・賑わいづくりを柱とした横浜らしいダンスフェスティバル「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021」を万全の感染症対策を講じ開催します。

●Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 開催概要

開催期間：令和 3 年 8 月 28 日～10 月 17 日（コア期間 51 日間）

（プレ期間：令和 3 年 5 月 1 日～8 月 27 日、ポスト期間：10 月 18 日～11 月 30 日）

会場：横浜市内全域（横浜の「街」そのものが舞台）

プログラム数：約 200

＜音楽部門＞

横浜みなとみらいホールを中心に次世代育成事業、インクルージョンへの取組などを実施。

次期音楽フェスティバルの開催に向け、準備を進めます。

■日中韓都市間文化交流事業

平成 26（2014）年の日本における東アジア文化都市事業の初代開催都市として、中国泉州市、韓国光州広域市と文化芸術による交流を通じて培った協力関係を一過性のものにすることなく、今後も交流を継続していきます。

令和 2 年度実績

令和 2 年度は泉州市、光州広域市と 3 都市共同プロジェクトとして PR 動画を作成しました。

また、横浜市内の創造界隈拠点と光州広域市のアートスペースのアーティストがコロナ禍ならではの、完全リモートによる作品制作・展示等を実施し、交流を深めました。